

## 問3 「環境と共生するまちづくり」について

### 【現状評価】

1. 企業や民間団体による環境保全の取組みが盛んである
2. ゴミ拾い運動などの環境美化活動が盛んである
3. 省資源・省エネの取組みが市民生活に浸透している
4. ゴミの減量に向けた分別やリサイクルが盛んである
5. 太陽熱温水器や太陽光発電を利用する家庭が増えている
6. 田園・都市・街道の調和が取れた塩尻らしい景観が整っている
7. 花壇や街路樹の整備が十分におこなわれている
8. 美しく澄んだ河川や水源が保たれている
9. 里山・森林の整備が行き届いている
10. 自然の大切さを学び・伝える機会に恵まれている
11. 公害や汚染のない環境が保たれている

### 【満足度評価】

- 「環境と共生するまちづくり」に対する満足度

### 【現状評価と満足度の関係性】

- 重回帰分析結果

#### 《重要》 結果を見る前に確認してください

##### P16とP17-18の平均値の違いについて

P16に示される平均値とP17-18に示される平均値の値は若干異なります。これは、P16に示される数値が各項目に回答した回答者全員の平均値であるのに対して、P17-18に示される数値は重回帰分析の実施にあたり、**問3**の質問項目全てに回答した回答者の平均値を示しているためです。

##### P17-18の寄与率と有意確率・検定結果について

「寄与率」とは重回帰分析によって示された「現状評価が満足度評価に与える影響力の大きさ」です。「有意確率」とは、「影響(寄与)が偶然によるものかどうか」を統計的(確率的)に検定する基準です。統計的検定の仕組みは省きますが、社会調査では90%以上を統計的に信頼できると判断することが多く、検定結果では○で示してあります。なお100%は四捨五入の値であり、限りなく100%に近いことを意味しますが、影響の絶対性を保証するものではありません。また、各項目の寄与率の合計は通常100%にならず、多くの調査では50～60%となります。これは、本調査の項目以外に満足度に影響を与えるような無数のその他要因があるためです。

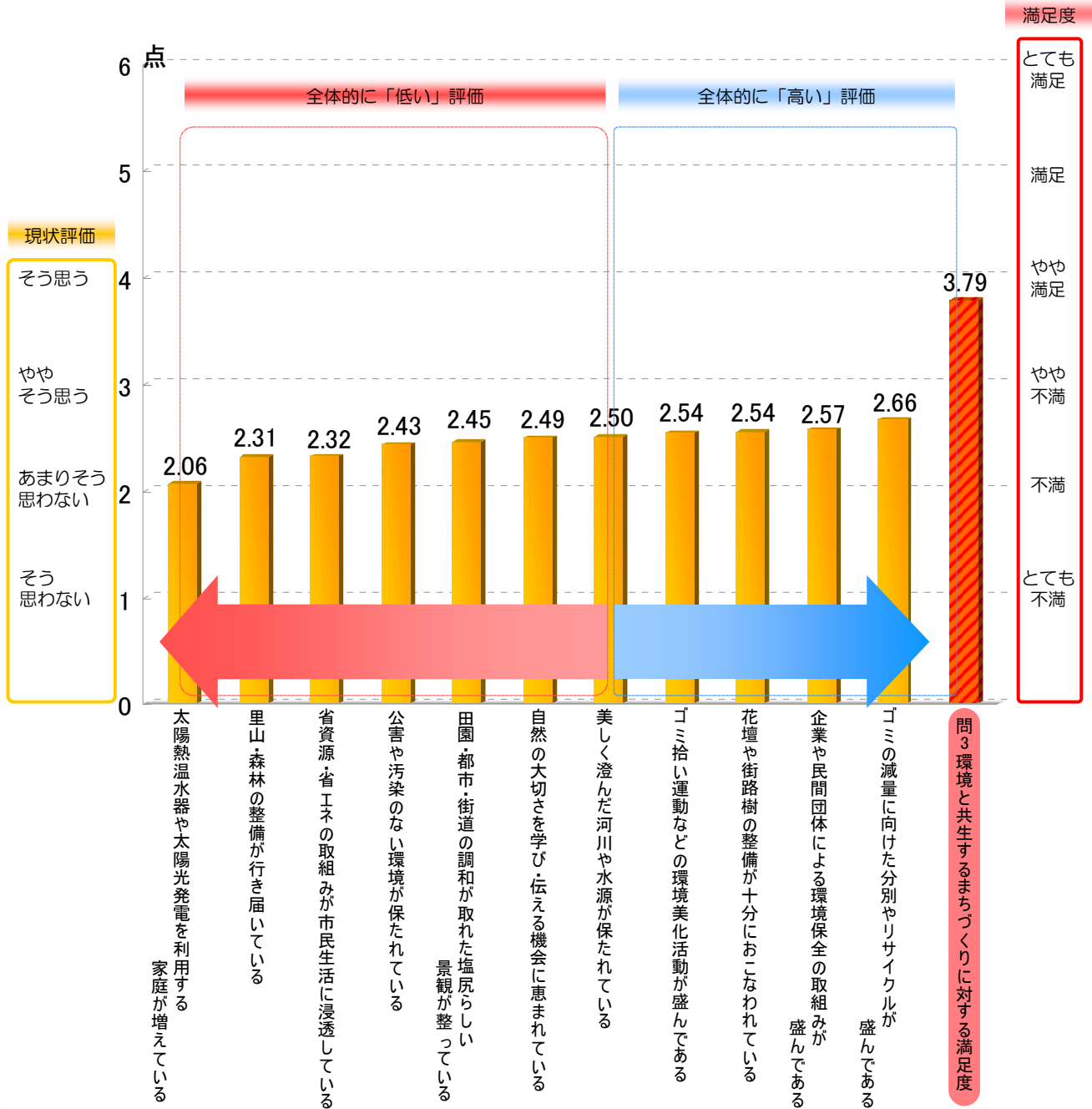
「ひとに傳く  
自立と創造の田園都市」  
実現に向けて

現状評価

満足度評価

### 問3. 「環境と共生するまちづくり」に関する評価の状況

塩尻市の「環境と共生するまちづくり」について様々な場面の現状と全体的な満足度を評価した。2.5点を基準に、「低い」評価と「高い」評価に分けて結果の分析をおこなった。



#### 「環境と共生するまちづくり」に対する住民の評価（要約）

- 環境美化やゴミの減量化は中間的な評価よりやや高い。
- 新エネルギーとなる太陽光発電などの利用は、特に評価が低く、浸透していないことがうかがえる。
- 里山森林の整備や省資源・省エネ行動も十分な評価には至っていない。
- 総合的な判断として塩尻市の「環境と共生するまちづくり」は「やや満足」に近い評価。

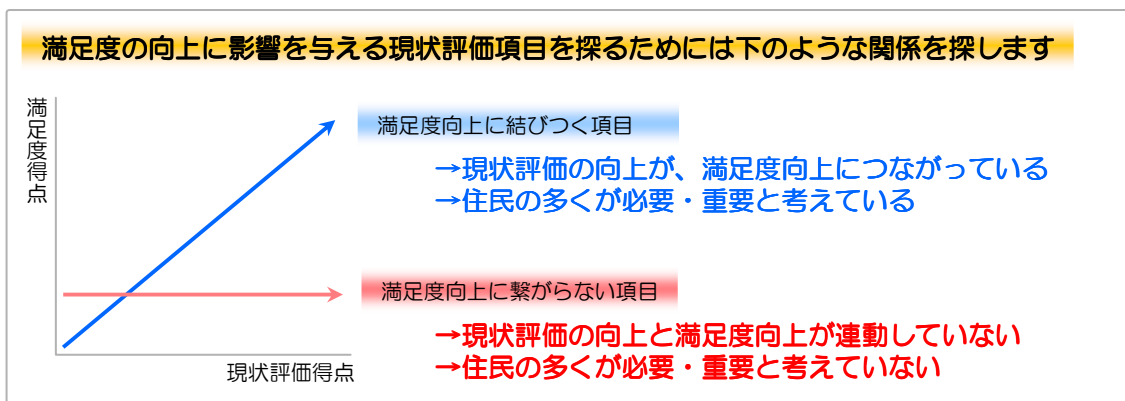
### 問3. 「環境と共生するまちづくり」において満足度を高める要因分析①

塩尻市において、「環境と共生するまちづくり」に住民が満足するためにはどのようなことが求められているのかを **現状評価** と **満足度評価** の結果から分析をおこなった。



どのような **現状評価** 項目が改善・充実する(評価が上がる)と「環境と共生するまちづくり」に対する **満足度評価** が向上するのかを「重回帰分析」と呼ばれる統計分析で検討し、今後の取り組みの **重要度評価** をおこなった。

#### ● 満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握 (重回帰分析のしくみとなる相関について)



#### 手続き①：重回帰分析の結果(寄与率順)

※寄与率・有意確率・検定結果についてはP15参照

評価項目	平均値	寄与率	有意確率	検定結果
(11)公害や汚染のない環境が保たれている	2.45	17.92%	100.00%	○
(8)美しく澄んだ河川や水源が保たれている	2.56	10.98%	98.13%	○
(7)花壇や街路樹の整備が十分におこなわれている	2.54	9.79%	98.61%	○
(6)田園・都市・街道の調和が取れた塩尻らしい景観が整っている	2.49	8.48%	94.87%	○
(4)ゴミの減量に向けた分別やリサイクルが盛んである	2.66	4.37%	86.71%	-
(1)企業や民間団体による環境保全の取り組みが盛んである	2.51	4.05%	85.78%	-
(9)里山・森林の整備が行き届いている	2.36	3.65%	56.71%	-
(5)太陽熱温水器や太陽光発電を利用する家庭が増えている	2.04	3.55%	91.33%	○
(2)ゴミ拾い運動などの環境美化活動が盛んである	2.52	3.21%	66.19%	-
(10)自然の大切さを学び・伝える機会に恵まれている	2.50	3.02%	56.83%	-
(3)省資源・省エネの取り組みが市民生活に浸透している	2.35	0.93%	21.39%	-

※ 上表の平均値が前頁得点とやや値が異なるのは、重回帰分析をおこなう上で問3の項目全てに回答している必要があり、アンケート回答に漏れがあった回答者を除いて再分析したため

「環境と共生するまちづくり」に対して満足を感じるためには・・・

- 公害や汚染のない環境が保たれている
- 美しく澄んだ河川や水源が整備されている
- 花壇や街路樹の整備が十分におこなわれている
- 田園・都市・街道の調和が取れた塩尻らしい環境が整っている
- 太陽熱温水器や太陽光発電を利用する家庭が増えている

**満足度向上に影響(寄与)する項目**

の5つの現状評価項目に関して改善や充実が必要である可能性が示された

重要度評価

問3. 「環境と共生するまちづくり」において満足度を高める要因分析②

満足度評価 に影響を与える 現状評価 のうち、現在「低い」評価がされている項目と現在「高い」と評価されている項目を把握し、分野としての 重要度評価 をおこなった。

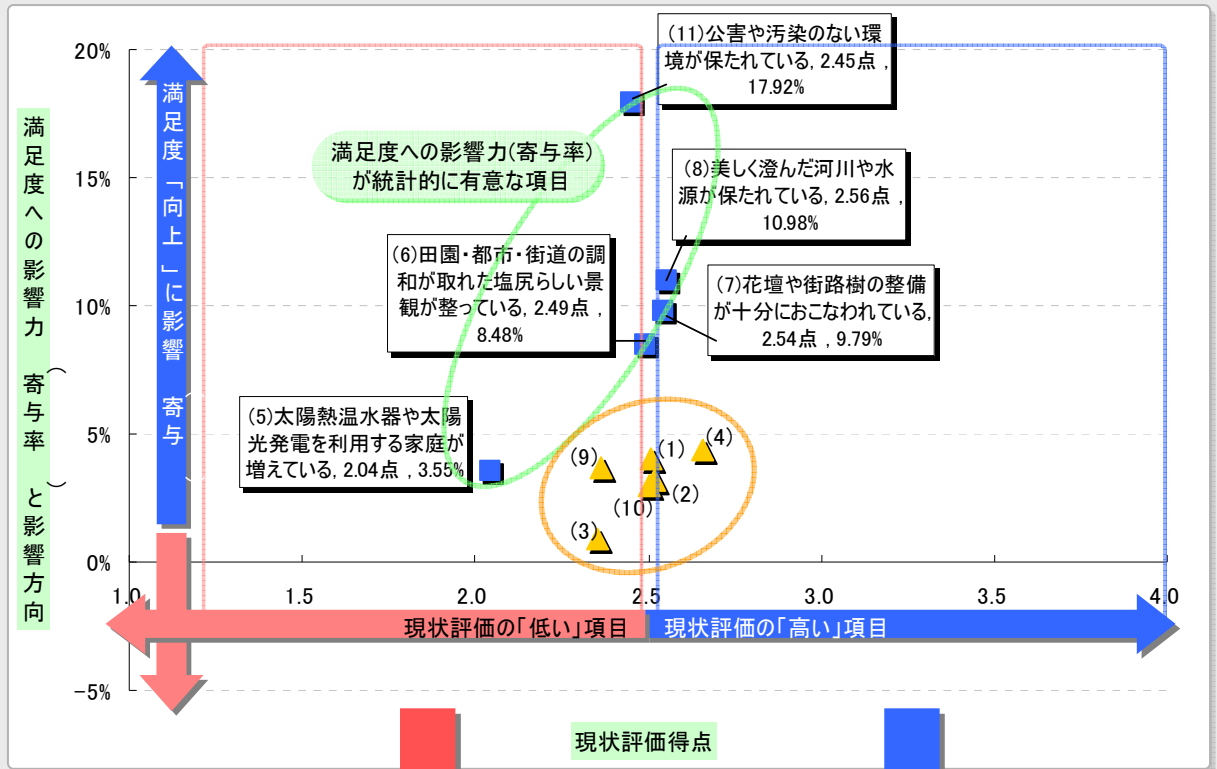
●満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握（重要度把握のしくみ）

重要度の高い現状評価項目を探るには下のマトリクスを参考に結果を見ます

	現状評価【低い】	現状評価【高い】
満足度への影響力【大】	現状の大幅な改善・充実が早急に必要	現状を基準にさらに満足度向上を目指す
満足度への影響力【小】	現状評価の向上が必要	現状維持

手続き②：重要度分析の結果

統計的に影響力が無いと判断された項目の項目名は前頁の評価項目番号を参照



公害や汚染のない環境に対する現状評価は中間よりもやや低い評価となっているが、満足向上への影響力が大きい項目である。現状を早急かつ抜本的に改善する必要性の高い分野である。

環境美化や景観作りに対する現状評価は中間よりもやや高い評価となっており、満足度向上への影響力が大きい項目である。今後も継続的に更なる充実のために施策を検討する必要性の高い分野である。